

## 新型コロナワクチン接種の安全性確保を求める意見書

新型コロナワクチン接種においては、これまでのワクチンとは仕組みがまったく異なり、人体に実用化する初めての遺伝子ワクチンであり、ワクチン接種による感染予防効果や中長期的な人体の影響については明らかにされていない。「第19回 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会（令和3年2月15日）」において、発症しない感染者が多数存在する新型コロナウイルスでは、感染予防の実証が難しいことやワクチン接種による発症予防及び重症化予防に期待される効果の持続期間については調査中であることが示されている。

ワクチン接種による期待される効果と副反応の双方について理解し、必要とする人が予防接種を不安なく受けられるよう、また予防接種を受けない人が社会的不利益を被ることの無いような対策が必要である。

よって、国におかれては、感染症対策の強化に適切な措置を講ずるため、下記の事項に取り組まれるよう強く要望する。

### 記

1. 予防接種を受ける人にワクチンのメリットとデメリットの正確な情報を提供すること
2. 年齢などの条件によってメリットとデメリットが異なる場合、該当する条件に対する詳細な説明をすること
3. ワクチン接種は強制ではない旨の周知を図ること
4. ワクチン接種によって感染予防はできない旨の周知を図ること
5. ワクチン接種の有無による社会的差別を受けることの無いよう対策を講じること
6. 重大な副反応発生に関して個人補償措置を確立すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年6月17日

茨城県笠間市議会議長 石松 俊雄

内閣総理大臣 菅 義偉 殿  
内閣官房長官 加藤 勝信 殿  
総務大臣 武田 良太 殿  
財務大臣 麻生 太郎 殿  
経済産業大臣 梶山 弘志 殿  
内閣府特命担当大臣（地方創生） 坂本 哲志 殿  
内閣府特命担当大臣（規制改革） 河野 太郎 殿  
内閣府特命担当大臣（経済財政政策） 西村 康稔 殿